

楽生苑の お正月



餅つき大会

12月8日 毎年恒例の餅つき大会です。

年末最後の行事でもあり皆さん楽しみにしていました。

前日から石うす・きねを用意し、ご利用者、ボランティア元気会さん、職員で「よいしょ～よいしょ～」と皆で掛け声をかけながら一杯餅をつきました。その姿をみて「わあ！すごいな～」といいながら行いました。ついたおもちを、大根おろし・きなこ・あんこ・砂糖醤油をつけ、昔から変わらない味なので皆が「おいしい、おかわり」「やっぱりきたてのお餅はおいしいね～」といいながらおいしく食べました。また、みかんを丸ごと餅米と一緒に蒸すみかん餅も作りました。

お餅を丸めている最中、「そうじゃないよ！こおやって丸めるんよ」とベテラン主婦であるご利用者に教えてもらい大笑いでした。

今年も去年に負けなようにたくさんのお餅がつけるよう今から体力作りです。



初釜

今年もいい年を迎えることが出来ました。1月2日に本年初行事の初釜を行いました。

〔初釜〕とは…？

お正月に行う茶事（ちゃじ）のことです。

地元名荷の弓場先生をお迎えして、ご利用者、職員を対象に春の海を流しながらお茶をたていただきました。

畳に座っているのは職員ですが、日々お茶をたしなむ機会がないので先生に教わりながらごちないなりにいただきました。足がしびれて立てなくなったり、お茶をすすることに慣れなくむせ込む職員もいましたが日本古来の伝統行事を堪能しながら楽しい会になりました。

また、ご利用者の方も先生の姿にくぎづけで真剣な眼差しで見学していました。

初詣

1月3日 名荷神社に初詣に行きました。一年一年の全員の無病息災をお祈りしてきました。

この日は冷え込みが強く皆が「さむ～い」といいながら神社に向かい、境内にはいと暖房を用意してくれていて一斉に「ぬく～い」と口を揃えて言いました。神主さんにお払いをしてもらい御神酒もいただきました。

老いの青春讃歌

来てみれば 今日も素顔の
諸手で握手 元気を診ます 明るさに
逢う瀬の如 差し出す諸手を
診ればなお 戦禍の青春 遠く脈打つ

葦生